

農業ひろさき

2020年8月1日 (第174号)
(令和2年8月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会

弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104



三村知事 弘前のりんご農家を激励 櫻田市長 地元代表であいさつ

7月6日、三村申吾知事が五所地区の田澤俊明さんの園地を訪れ、高品質りんごの生産を呼び掛けました。

会場には、地元農家をはじめ櫻田市長、清野市議会議長、成田農業委員会会長や地元県議会議員、市議会議員のほか関係者約100人が集まりました。

三村知事は、農家の努力に感謝の言葉を述べ、「水、土、人・作り手が最高品質を生んでいる。国内はもちろん世界に販売できる世界最高品質のりんごを作ってください。」と激励しました。また、櫻田市長が地元を代表し、「生産者のみなさんの努力の成果がきちんと出るよう県と一体になって販売の強化、そして、担い手不足の解消に取り組んでまいります。」とあいさつしました。生産者との意見交換において、園主の田澤さんからは「労働力不足解消に向けた機械作業の自動化」、柴田康平さん(相馬村農業協同組合青年部 部長)からは「補助労働力確保に向けた情報発信の拡大」についてそれぞれ質問があり、知事から「ドローン等の機械化・自動化・無人化の研究開発に各関係機関と連携していきたい。」等の回答がありました。意見交換後には三村知事もりんごの摘果作業に加わり、集まった地元農家の労をねぎらい、最後に、柴田さんの発声により、「安全・安心で高品質なりんごを日本一の産地弘前市から世界に向けて発信しよう」と、全員でガンバローコールをし、出来秋を祈りました。



三村知事と櫻田市長



三村知事と園主の田澤さん

農地パトロール (利用状況調査)実施中!

農地パトロール(利用状況調査)は、市内すべての農地について、その利用状況を把握することを目的に、以下の3点を重点として実施しています。

- ① 地域の農地利用の確認
- ② 遊休農地の実態把握
- ③ 違反転用の発生防止・早期発見

利用状況把握のため、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局職員が農地内に立ち入ることもありますが、農地の利用促進につなげるための大切な調査ですので、ご理解とご協力をお願いします。



農業委員会「総会」開催

6月24日、農業委員会総会を市役所前川新館3階大会議室で開催し、農地の所有権移転及び使用収益権設定の許可のほか、次の要望事項について審議し、原案のとおり可決されました。

りんご放任園対策に関する要望

(内容：「青森県りんご黒星病対策推進会議」の維持及び所管する各業務を継続・充実させ、放任園・管理粗放園の対策を図ること)

なお、上記の要望事項は、今後、実現に向けて関係機関に働きかけていきます。

～重点地区農地利用状況調査～

市農業委員会(成田繁則会長)では、7月1日(水)に重点地区農地利用状況調査を実施しました。今年は船沢地区を重点地区として位置づけ、調査班を編成し、各班ごとに農地利用の調査を行いました。

地域の農地は地域で守るために、農業委員と農地利用最適化推進委員をはじめ、地元農業者等からなる農地活用支援隊、そして地元の事情に精通したつがる弘前農業協同組合職員や市農政課職員の協力を得て調査を行いました。

■問い合わせ先 農業委員会農地係(市役所前川本館3階)
☎40-7104



令和3年度 環境保全型農業直接支払交付金(要望調査)

地域の環境改善に効果が高い取り組みを推進するため、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者団体などを支援します。令和3年度に活用を考えている方はぜひご相談ください。

対 象 取 組	
①有機農業 (化学肥料及び農薬を 使用しない農業)	⑥総合的病害虫・雑草管理(I P M) と組み合わせた畦畔除草及び 秋耕の取り組み
②堆肥の施用	⑦不耕起播種
③カバークロップ	⑧長期中干し
④リビングマルチ	⑨秋耕
⑤草生栽培	

②～⑨については、化学肥料、化学合成農薬の5割低減の取り組みと組み合わせることが必要。

特に、水稲の特別栽培農産物の認証を受けている方は、取り組みやすい制度です。

◆対象者 次の要件を満たす、販売を目的として生産を行う農業者団体など

- (1) 国際水準GAPを実施していること
- (2) 環境保全型農業に係る推進活動を行っていること
(特例措置あり)

※掲載内容は令和2年度のもので、今後変更になる可能性もあります。また、交付金の額は対象取組の内容等により異なります。

◆申込締切 9月30日(水)(申請書類は、農政課で配布。)

■問い合わせ先 農政課農産係(市役所前川本館3階)

☎40-0504

パイプハウス等への補助事業を活用してみませんか?(令和3年度要望調査)

令和3年度実施予定の下記事業の活用について要望調査を行います。当該事業を活用してみたいと考えている方はぜひご相談ください。



事業名	青森県野菜等産地力強化支援事業
事業内容	野菜など産地の所得向上と産地力の強化を図るため、省力化機械・設備の導入やパイプハウスの設置を支援します。
対象者	認定農業者、認定新規就農者など
対象品目	夏秋トマト、夏秋キュウリ、夏秋ピーマン、キク、トルコギキョウなど
補助率	4分の1以内 ※パイプハウスの導入については、4,728円/㎡を補助対象経費の上限とする。
申込締切	9月11日(金)

※掲載内容は、令和2年度事業のもので、今後変更になる場合もあります。

■問い合わせ先 農政課農産係(市役所前川本館3階)

☎40-0504

令和3年收入保険制度説明会の日程等について

青森県農業共済組合では、令和3年産収入を補償対象とした農業経営収入保険の説明会及び相談会を下記日程で開催しますので、ぜひご参加ください。

開催日時	会場
8月18日(火) 14:00～17:00	北辰学区高杉ふれあいセンター
8月19日(水) 17:00～19:00	中央公民館岩木館
8月19日(水) 17:00～19:00	中央公民館相馬館
8月20日(木) 14:00～17:00	新和地区体育文化交流センター
8月20日(木) 17:00～19:00	東目屋ふれあいセンター
8月20日(木) 17:00～19:00	農村環境改善センター (市内大森字勝山)
8月27日(木) 13:00～17:00	青森県農業共済組合 ひろさき支所

家族経営協定を締結して、農業経営を発展させよう!

家族経営協定は、農業経営における家族の約束事を文書で取り決めたものです。

協定を結ぶことでお互いの役割を確認することができ、家族一人ひとりの自覚と責任が一層強くなります。本市での協定締結家族は現在147組となっており、家族間の話し合いが重要で、経営改善や女性農業者の地位確立などに繋がっております。

また、認定農業者制度の共同申請や農業者年金の加入にあたり保険料の国庫助成、制度資金の活用などのメリットがあります。

家族経営協定に関する詳しい内容や締結までの流れなど、興味のある方は、下記までお問い合わせください。

役割分担や就業規則の
取り決めを通じて、経営
の合理化が進んだ。

経営理念や経営方針を家族みんなで共有できるようになり、家族全員の経営意識が向上した。

決まった給与を貰えると、将来設計が
立てやすくなって助かる。



■問い合わせ先 農業委員会農政係(市役所前川本館3階)

☎40-7104

◆対象者

弘前市在住で、農業経営(青色申告)をしている方

◆必要書類【加入をご検討の方は、平成28年から令和元年までの下記①～⑥の申告書類を持参ください(厳重に取り扱い致します)。】

- ①確定申告書B第一表
- ②青色申告決算書 損益計算書
- ③青色申告決算書 収入金額の内訳
- ④雑収入の内訳
- ⑤事業消費がある場合は内訳
- ⑥品目ごとの作付面積と収穫量

■問い合わせ先

青森県農業共済組合ひろさき支所
収入保険課

☎28-5700

※新型コロナウイルス感染症の感染状況次第で中止となる場合もありますので、随時ホームページや電話等でご確認ください。

◆青森県農業共済組合ひろさき支所(市内門外字村井)では常時受付しております。

市内の独身農業者の方(男・女)!一緒に会を盛り上げませんか♪

ひろさき「農の魅力」体験ツアーの開催について

市では、直接農業に触れることで農業のもつ魅力や大切さを感じてもらい、将来農業やその関連産業に携わる人材の発掘・育成を図るため、市内の小学生及び保護者を対象に、食や農業に関する体験ツアーを昨年に引き続き開催します。市内の農業者との交流を通じて、農業の大切さを感じてみませんか。

◆開催日時 第1回：9月6日（日）9:00～15:30

（雨天決行）第2回：9月13日（日）9:00～15:30

第3回：10月4日（日）9:30～15:30

第4回：10月18日（日）9:30～15:30

◆集合場所 第1回・第2回は、弘前市役所中庭に8:50までに集合。

第3回・第4回は、弘前市役所中庭に9:20までに集合。

◆内容 第1回及び第2回：①嶽さみ収穫体験、②加工品づくり体験、③収穫物を使った調理体験
第3回及び第4回：①りんご収穫体験、②加工施設工場見学、③収穫物を使った調理体験
※各回とも食育に関する講話を行います。

◆定員 各回7組14名（先着順）

◆対象 市内在住の小学校4～6年生とその保護者

◆参加料 無料

◆持ち物 マスク、三角巾、ふきん（2～3枚）、エプロン、雨具、長靴、汗拭きタオル等

◆申込締切 第1回及び第2回：8月20日（木）
第3回及び第4回：9月18日（金）

◆申込方法 電話、FAX、Eメールにて申し込みを。
（参加希望日、参加者の氏名、年齢、学年、住所、電話番号、食品アレルギーの有無（アレルギーの種類も含む）、緊急連絡先（氏名、住所、続柄、電話番号））

◆問い合わせ先及び申込先：フラワー観光株式会社
（定休日：日、祝日）（営業時間：9:30～18:00）
☎26-2113 FAX26-0808

Eメール：hirosaki@flower-travel.com

※新型コロナウイルス感染症の影響により、ツアーを延期・中止する場合がありますので、ご了承ください。また、ツアーの参加にあたっては、「新たな生活様式」に基づき、「3つの密」の回避等に、ご協力ください。



特産果樹について要望調査のお知らせ

りんご以外の果樹を対象とした、生産性を向上させる施設（雨よけハウス等）の整備について要望調査を行います。

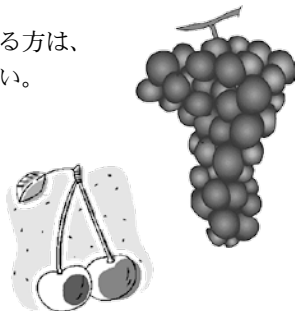
来年度の整備を計画されている方は、市りんご課までお知らせください。

※あくまでも要望調査で、補助事業の申し込みではございません。

■問い合わせ先

りんご課生産振興係
（市役所前川本館3階）

☎40-7105



農業里親研修事業始まります！

市や県、弘前管内のJA、農業委員会等で構成する「ひろさき農業総合支援協議会」では、明日の農業を支える人材の育成・確保に向け、この度、就農を希望する非農家出身者等に対して、市内の里親農家が農業技術の習得のほか、農地探しや補助制度の情報提供など、総合的なサポートを行う「農業里親研修事業」を開始しました。

農業里親研修事業とは

就農を希望する非農家出身者や移住検討者に対して、ひろさき農業総合支援協議会が認定した里親農家が農業研修（1,200時間以上／年）や地域定着・農地取得等の支援を行います。

現在、24名の里親農家が認定され、就農を希望する研修生の受け入れに向けて準備を進めています。

農業里親研修受講要件

- ・親が農業者でないこと
※ただし、親と異なる栽培品目で経営を行う場合は、対象となることがあります。例：親はりんご単作経営だが、子はトマトで独立自営就農を目指す場合など。
 - ・研修開始時の年齢が満18歳以上60歳未満であること
 - ・里親農家の親族（配偶者又は3親等内の血族若しくは姻族）でないこと
 - ・研修開始時に常勤（週35時間以上で継続的に労働）の雇用契約を締結していないこと
 - ・研修終了後に弘前市内で農業経営を開始することに強い意欲があること
- ※その他の要件もございますので、詳細はお問い合わせください。



■問い合わせ先 ひろさき農業総合支援協議会事務局
（市農政課内）☎40-0767 FAX32-3432

農地流動化情報

農業委員会では、農地の有効利用と遊休農地解消対策として、「農地を貸したい、売りたい」または「借りたい、買いたい」などの情報を提供しています。

申出区分	整理番号	農地の所在	現況地目	利用状況	面積	希望価格	備考
売りたい	1047	下湯口字村元 103-5	畑	休耕	12.38a	交渉次第	貸借も可
	1048	大和沢字沢田 133-1他1筆	田・畑	休耕	28.52a	交渉次第	貸借も可
	1049	大和沢字沢田 133-2他1筆	田・畑	休耕	25.35a	交渉次第	貸借も可
貸したい	1044	境関字川部39-1	田	水稻	10.32a	交渉次第	
	1045	境関字川部68-2	畑	野菜	8.42a	交渉次第	

このほかの情報もありますのでお問い合わせください。

なお、市のホームページからも情報提供を行っています。

農業・商工業・観光 > 農業情報 >
農地に関する > 農地流動化情報



■取扱窓口及び問い合わせ先

①農業委員会農地係（市役所前川本館3階）☎40-7104

②農業委員会岩木分室（岩木庁舎1階）☎82-3111内線611

③農業委員会相馬分室（相馬庁舎1階）☎84-2111内線805

<今年も健診を実施しています!!>

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として健診実施時期を延期しましたが、6 月 1 日より例年通り実施しています。

国民健康保険に加入している 40 歳以上の人に国保特定健診、国保人間ドック、国保脳ドックを、後期高齢者医療制度に加入している人には後期高齢者の健診、歯科健診を実施しています。

健診の目的は、体の異常の「早期発見・早期治療」です。自覚症状がないまま進行する病気もありますので、毎年健診を受けてご自分の健康状態を確認しましょう。

全国で緊急事態宣言が解除されましたが、ウイルスの感染に細心の注意を払い、予防に努めていただきますようお願いいたします。

健 診 名	対 象	料 金	実施期間
国 保 特 定 健 診 ・ 後 期 高 齢 者 の 健 診	国民健康保険に加入している 40 歳以上の人、または後期高齢者医療制度に加入している人	無 料（健診には約 1 万円の費用がかかりますが、受診券を使用することで年度内 1 回に限り無料で受診できます。）	令和 3 年 3 月 15 日まで
国 保 人 間 ド ッ ク	次のいずれにも該当する人 ○国民健康保険に加入している 40 歳以上の人 ○国民健康保険料の滞納がない世帯の人	4,250 円（年度内 1 回。国保特定健診が含まれ、同時受診となります。また、検診内容や年齢により自己負担が増減することがあります。）	令和 3 年 3 月 15 日まで
国 保 脳 ド ッ ク	○国民健康保険料の滞納がない世帯の人	5,000 円（年度内 1 回。国保特定健診または国保人間ドックとは別に受診できます。）	令和 3 年 3 月 31 日まで
後 期 高 齢 者 の 歯 科 健 診	後期高齢者医療制度に加入している人	無 料（年度内 1 回。受診券はありませんので、被保険者証を持参してください。）	令和 3 年 3 月 31 日まで
■ 問 い 合 せ 先 ・【国保特定健診、国保人間ドック、国保脳ドック】 国保年金課国保健康事業係 ☎ 3 5 - 1 1 1 6 ・【後期高齢者の健診、歯科健診】 国保年金課後期高齢者医療係 ☎ 4 0 - 7 0 4 6			



法人化を考えてみませんか？

農業経営や地域農業を維持・発展させ、次世代に継承していくためには、法人化は有効な手段となることから、市農業委員会では、法人化に興味のある集落営農組織に対し、法人化のメリットなどの講話や質疑応答等も盛り込んだ研修会を開催いたします。

開催を希望する集落営農組織や一度お話を聞いてみたいという方は、下記までお問い合わせください。

【研修会の内容】

- ◆時 間 1 時間 30 分程度
- ◆場 所 市内（詳細については要相談）
※会場を用意していただく場合があります。
- ◆対 象 市内の集落営農組織・農業者など
- ◆内 容 ・法人化するメリットや設立の手続きなどの講話
・アドバイスと質疑応答など
- ◆費 用 無料
- ◆申込締切 9 月 30 日（水）まで
※申込多数の場合は、日程調整や合同開催とさせていただきます。

■問い合わせ先 農業委員会農政係
（市役所前川本館 3 階）
☎ 4 0 - 7 1 0 4



青森県産業技術センター

農林総合研究所・りんご研究所参観デー

※開催日が異なります。ご注意ください。

- 【農林総合研究所】◆場所 黒石市田中 82 - 9
- ◆日時 9 月 4 日（金）、5 日（土）9:00 ~ 15:00
- ◆内容 お楽しみイベント（クイズ大会、輪投げ、収穫体験、寄せ植え体験）、研究成果の展示・紹介、野菜・花の販売など
- ◆問い合わせ先 ☎ 5 2 - 4 3 4 6
- 【りんご研究所】◆場所 黒石市大字牡丹平字福民 24
- ◆日時 9 月 3 日（木）、4 日（金）9:00 ~ 15:00
- ◆内容 研究成果の展示・紹介、相談コーナー、りんごの販売など
- ◆問い合わせ先 ☎ 5 2 - 2 3 3 1

※今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、以下へのご協力をお願いします。

- ①入場時、氏名・連絡先（代表）の記載と検温を行うこと
- ②体温 37.5℃以上の場合、入場をお断りすること
（ご一緒の方も含みます。）
- ③マスクを着用すること



若いうちから加入を！農業者年金 ～こつこつ積み立て、自分の老後は自分で守る～



農業者年金って、どのくらいもらえるの？



例えば・・・
30 歳で農業者年金に加入
保険料 2 万円（月額）納付

積立方式の年金です！

男性 50 万円（年間）
女性 42 万円（年間）

を受け取れる試算になります。

じゃあ、保険料は、どれくらい？

保険料は

月額 2 万円から 6 万 7 千円までの間で、
千円単位で自由に選択ができます。



支払った保険料は
全額社会保険料控除に
なります！

若い農業者には・・・

認定農業者で青色申告者の方など
一定要件を満たす若い担い手には、
保険料の国庫補助制度があります。

加入後にいつでも見直し可能！

■問い合わせ先 農業委員会農政係
☎ 4 0 - 7 1 0 4